

「障がい者ものづくり応援募金」のお知らせ

東日本大震災により被害を受けた授産施設の活動を支援します

公益財団法人イオンワンパーセント（1%）クラブ（以下、当財団）は東日本大震災で被災した「障がい者がものづくりを行う施設」（授産施設）を応援するため、2月10日（水）から3月13日（日）まで「障がい者ものづくり応援募金」を下記の通り全国約8,000カ所にて実施します。

今回お寄せいただいた募金は、当財団から一定額を上乗せした上で、認定NPO法人を通じ、岩手県・湾岸部を中心に多くの障がい者授産施設に届けられ、被災して使用できなくなった生産設備の入れ替えや、販路の拡大など、「ものづくり」に取り込まれる障がい者の方々の活動支援に役立てていただきます。

当財団は、地域社会の一員として東北の復興や活性化に貢献できるよう、さまざまな活動に継続的に取り組んでいます。本募金活動もその一つであり、2011年のスタートから数え、本年度で4回目となります。これまで、岩手県、宮城県、福島県の授産施設96カ所を支援し、寄附金の総額は118,328,615円にのびります。

当財団は、東北の復興・発展のために、これからもさまざまな活動に取り組んでまいります。

記

1. 期 間：2月10日（水）～3月13日（日）
募金場所により開始時期が異なる場合があります。
2. 実施場所：全国のイオングループの店舗・事業所約8,000カ所、当財団ホームページ
3. 連 携 先：AAR Japan（認定NPO法人難民を助ける会）
4. 支 援 先：岩手県、宮城県、福島県の授産施設の支援に活用していただきます。
5. そ の 他：皆さまからお寄せいただいた募金額に、当財団が一定額を上乗せし寄附します。

「AAR Japan（認定NPO法人難民を助ける会）」について

AAR Japan（認定NPO法人難民を助ける会）は、1979年にインドシナ難民を支援する市民団体として設立されました。これまでに60を超える国や地域で自然災害の被災者や紛争による難民の支援をはじめ、障がい者支援、地雷対策などに取り組んでいます。東日本大震災発生時には、支援物資の配布や障がい者施設への車両提供をはじめとした支援を行い、復旧・復興の段階に応じた支援を現在も被災地で継続して実施しています。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

（公財）イオン1%クラブ 板谷（イタダニ）Tel: 043-212-6023

【ご参考】 公益財団法人イオンワンパーセントクラブの主な活動内容

◆次代を担う青少年の健全な育成に資する事業

<イオン チアーズクラブ>

地域の小中学生の環境保全活動を支援。毎年夏に全国大会を開催。

<中学生環境作文コンクール>

環境問題に関する作文を募集し、優秀な作文提出者は生物多様性研修に参加。

<AEON eco-1グランプリ>

全国の高校 及び高校生のエコ活動を顕彰し、エコ活動の輪の広がりを支援。

<学校建設支援>

アセアン各国で子どもたちの教育環境の整備を支援。全国で実施した募金にほぼ同額を上乗せし、小学校校舎建設と附属設備の設置及び教員養成を支援。

<セーフウォーターキャンペーン>

学校建設を支援した地域で汚濁水を生活用水に使っている地域に、浄化した給水施設を設置することで子どもたちを健康面と教育面から支援。

【学校建設支援】



ネパール新校舎



ミャンマー新校舎



新校舎に喜ぶ子どもたち

◆諸外国との友好親善の促進に資する事業

<ティーンエイジ アンバサダー>

海外と日本の高校生の相互交流活動。表敬活動、交流活動、歴史文化理解活動を通じ互いへの理解とグローバルな視野を持つことを支援。

<アジア ユースリーダーズ>

アジアの高校生・大学生が一堂に会し、開催地の社会問題への解決策を議論し政府へ提案することを通じ、各国の多様な価値観への理解を深めることを支援。

<イオン スカラシップ>

アジア各国で学ぶ大学生へ奨学金を給付し、次代を担う青年たちの夢の実現を支援。

【ティーンエイジ アンバサダー】



首相官邸訪問



中国での授業体験



ミャンマーで托鉢体験

◆地域社会の持続的発展に資する事業

<ふるさと未来支援>

日本各地に伝わる固有の伝統的な文化・工芸・芸能の継承と普及を支援。

<災害復興支援>

大規模自然災害に見舞われた地域の人々を支援。

<公益法人への支援>

当財団の設立主旨に副う活動を行う公益法人を支援。

【ふるさと未来支援】



よさこい祭り



イオン ふるさと発見伝



イオン すくすくラボ

* 活動の詳細な内容はこちら (<https://www.aeon.info/1p/>) をご覧ください。